

その歩きにくさ、 治せるかもしれません!

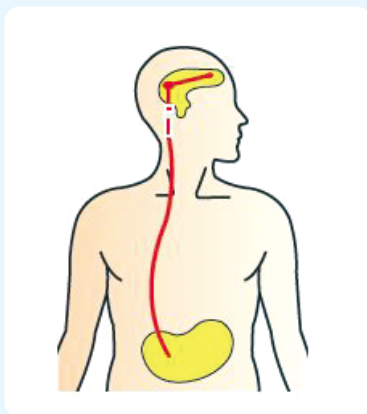
～特発性正常圧水頭症について～

加齢とともに、歩きにくさや、頭がよく働かない感じ、また尿漏れなどを感じていませんか？これらの症状の原因は多くのものが考えられますが、その中の一つに特発性正常圧水頭症という病気があります。これは脳の中の髄液とよばれる液体が通常よりも多くなっており、これを抜くことにより歩きにくさなどの症状を改善することができる疾患です。

治療は全身麻酔で1時間程度の手術で、シャントチューブと呼ばれる髄液の流れを変える細い管を埋め込みます。この治療に10日前後の入院が必要ですが、驚くほど早く歩けるようになったり、会話がスムーズになる患者様が実際に多くいらっしゃいます。私はこの特発性正常圧水頭症の診断と治療にとりくみ、これまでに300人以上の患者様を診察し130人以上の手術を行ってきました。

この病気は特にご高齢の方に多いため、他にもアルツハイマー型認知症や腰痛など加齢に伴う疾患を合わせて持たれている患者様に多く出会います。従って、お会いした患者様一人ひとりの生活などの背景はもちろんのこと、他の認知症や脳卒中歴、頸や腰の問題といった生活の質にかかわる疾患や障害をすべて合わせて慎重に治療方針を検討します。その上で、手術を受けた方が生活がよりよくなる、または手術なしに他の治療を優先すべきである、などと最善の提案ができるよう努力を続けています。

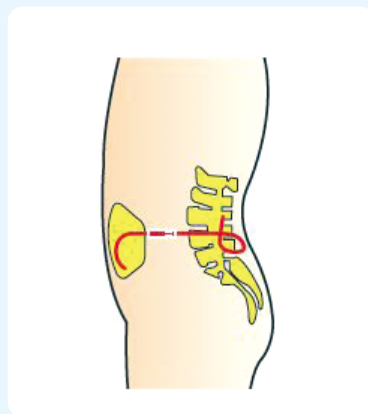
症状がよくなり日々の生活も向上する患者様にお会いできることは、医師として一番の喜びです。すでに認知症などの診断を受けている方でも、もしかしたら今も治療可能な症状があるかも知れません。年齢のためとあきらめてしまわずに、ぜひ一度お気軽にご相談ください。



脳室-腹腔シャント(V-Pシャント)

シリコン製チューブを頭からお腹までの皮下を通し、これにより脳の中にたまっている脳脊髄液を腹腔に流して排出する方法。

世界的に一番多く行われている水頭症の治療法。



腰椎-腹腔シャント(L-Pシャント)

腰椎の内側から脳脊髄液を腹腔に流す治療法で、シリコン製チューブは背中からお腹までの皮下を通る。

頭を手術しない利点がある一方で、腰が悪い患者様には不適な場合もある。



脳神経外科 宮崎 晃一

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
ボトックス治療資格(顔面けいれん・痙攣)
ITB療法治療資格

専門: 脳血管障害

特発性正常圧水頭症(iNPH)を含む認知症全般

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 提供資料